



平成27年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年5月11日

上場取引所 東名

上場会社名 CDS株式会社

コード番号 2169 URL <http://www.cds-japan.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 芝崎 晶紀

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理・財務部長

(氏名) 中嶋 國雄

TEL 052-587-5410

四半期報告書提出予定日 平成27年5月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第1四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第1四半期	1,962	△12.9	147	△51.1	146	△51.2	76	△55.3
26年12月期第1四半期	2,252	25.8	301	121.7	300	126.2	170	—

(注) 包括利益 27年12月期第1四半期 60百万円 (△65.0%) 26年12月期第1四半期 171百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第1四半期	11.19	—
26年12月期第1四半期	25.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年12月期第1四半期	6,072	4,012	66.1	588.24
26年12月期	5,902	4,074	69.0	597.43

(参考) 自己資本 27年12月期第1四半期 4,012百万円 26年12月期 4,074百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	18.00	—	18.00	36.00
27年12月期	—	—	—	—	—
27年12月期(予想)	—	18.00	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,225	4.5	481	4.0	473	1.7	263	1.9	38.58
通期	8,700	8.4	964	9.0	950	6.9	530	8.6	77.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年12月期1Q	6,924,400 株	26年12月期	6,924,400 株
② 期末自己株式数	27年12月期1Q	104,000 株	26年12月期	104,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年12月期1Q	6,820,400 株	26年12月期1Q	6,820,400 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安による輸出関連企業の収益改善、それに伴う設備投資の増加及び雇用の拡大、所得の改善が進むなど、緩やかな回復基調で推移しました。その一方で、個人消費は物価上昇などの懸念から依然として節約志向が続くなど、景気の本格回復には勢いを欠く状況が続いております。

当社グループは、情報家電産業、産業設備・工作機械産業、自動車産業、医療機器産業などに代表される「ものづくり企業」へのサービスに特化し、ドキュメンテーション事業、エンジニアリング事業、技術システム開発事業を展開しております。IT技術を駆使した「ストレート・スルー・プロセッシング」を可能とする「技術情報統合マネジメント企業」を目指しており、グループ各社の多種多様な特長と強みを活かすことで、グループ内シナジーを創出し、顧客企業の製品開発から製造・販売・サービスまでのビジネスプロセスの各段階をトータルにサポートしております。

また、高度化・多様化する顧客ニーズに対し、常に最新鋭の情報技術力を駆使するとともに、当社独自の特長ある技術を提案することで、「ものづくり企業」へのサポート体制を強化してまいりました。今後も、“提案力の強化” “高付加価値技術やグループ独自の新技术による他社との差別化・競争力強化” に注力し、“既存顧客の囲い込み” “新規顧客の開拓”を進めるほか、ロボットビジネスの本格化をはじめとする“新規事業・新規領域の拡大” “M&Aによる規模の拡大”を図り、オンリーワン企業として業界内での確固たる地位の確立に努めてまいります。

当第1四半期連結累計期間の業績は、主にドキュメンテーション事業における顧客企業の新製品開発計画・市場導入計画の遅延、エンジニアリング事業における学校事業での予算縮小、民間事業での営業展開の遅れなどにより、連結売上高1,962百万円（前年同期比12.9%減）、営業利益147百万円（前年同期比51.1%減）、経常利益146百万円（前年同期比51.2%減）、四半期純利益76百万円（前年同期比55.3%減）の減収減益となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。（各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含みます。）

(ドキュメンテーション事業)

ドキュメンテーション事業におきましては、グループ企業との連携強化、及びタブレット端末向け次世代マニュアルの開発、3D CAD活用販促CGムービー・ビデオマニュアルの制作、ワンソース・マルチユースのマニュアル提案といった当社独自の強み・新技术を活かした新規顧客の開拓、規模の拡大とブランド力の向上に取り組んできましたが、顧客企業での新製品開発計画・市場導入計画の遅延などの影響を受け、売上高は787百万円（前年同期比15.2%減）、営業利益は144百万円（前年同期比36.0%減）となりました。

(エンジニアリング事業)

エンジニアリング事業におきましては、独自のロボット・FAシステムを軸とした株式会社バイナスの高収益化、商品開発の積極展開及び新規顧客開拓・既存顧客の深掘り、独自マーケティングに基づく積極的な営業展開と協業企業との連携強化による収益拡大に取り組んできましたが、民間事業での営業展開の進捗の遅れや、前期に比して学校関連予算が縮小されていることなどにより、売上高は345百万円（前年同期比43.4%減）、営業利益は61百万円（前年同期比61.4%減）となりました。

(技術システム開発事業)

技術システム開発事業におきましては、既存事業の付加価値増と開発効率の向上、コア技術を活かした新ビジネス・オリジナル商品の創生による業務拡大、顧客・パートナーとの連携強化に取り組んできた結果、売上高は839百万円（前年同期比2.2%増）、営業利益は82百万円（前年同期比11.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は6,072百万円であり、前連結会計年度末より170百万円増加しております。内訳としては、流動資産が127百万円増加の3,884百万円、固定資産が42百万円増加の2,187百万円であり、主な要因は、受取手形及び売掛金・電子記録債権で92百万円、仕掛品で66百万円、有形固定資産で81百万円の増加があった一方、現金及び預金が63百万円減少したこと等であります。

(負債)

負債は前連結会計年度末より232百万円増加し、2,060百万円となりました。内訳は流動負債が233百万円増加の2,033百万円、固定負債が0百万円減少の26百万円であり、主な要因は、短期借入金が220百万円、賞与引当金が156百万円増加している一方で、未払金が77百万円、未払法人税等が76百万円減少したこと等であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は4,012百万円であり、前連結会計年度末より62百万円減少しております。その主な要因は、四半期純利益76百万円を計上し、122百万円の配当金の支払いを行ったことで、利益剰余金が46百万円減少していること等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年2月12日の「平成26年12月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,176,978	1,113,371
受取手形及び売掛金	2,017,822	2,100,484
電子記録債権	208,727	218,977
商品及び製品	18,966	23,885
仕掛品	107,456	173,991
原材料及び貯蔵品	13,570	11,999
その他	216,246	244,547
貸倒引当金	△2,700	△2,700
流動資産合計	3,757,068	3,884,557
固定資産		
有形固定資産	1,254,054	1,335,639
無形固定資産		
のれん	443,228	428,076
その他	147,562	136,846
無形固定資産合計	590,791	564,922
投資その他の資産		
その他	312,633	299,714
貸倒引当金	△12,400	△12,400
投資その他の資産合計	300,233	287,314
固定資産合計	2,145,078	2,187,876
資産合計	5,902,147	6,072,433
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	406,362	486,743
短期借入金	370,000	590,000
1年内返済予定の長期借入金	1,165	1,057
未払金	370,308	293,196
未払法人税等	168,713	92,290
賞与引当金	109,443	265,994
受注損失引当金	4,327	4,929
その他	370,185	299,628
流動負債合計	1,800,507	2,033,839
固定負債		
長期借入金	1,593	1,144
退職給付に係る負債	23,080	23,138
資産除去債務	2,213	2,220
固定負債合計	26,887	26,503
負債合計	1,827,394	2,060,342

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	940,327	940,327
資本剰余金	1,171,768	1,171,768
利益剰余金	1,943,688	1,897,243
自己株式	△25,436	△25,436
株主資本合計	4,030,348	3,983,903
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,547	11,069
為替換算調整勘定	29,857	17,117
その他の包括利益累計額合計	44,404	28,187
純資産合計	4,074,752	4,012,091
負債純資産合計	5,902,147	6,072,433

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
売上高	2,252,509	1,962,641
売上原価	1,502,788	1,353,836
売上総利益	749,721	608,804
販売費及び一般管理費	447,915	461,097
営業利益	301,805	147,706
営業外収益		
受取利息	143	146
受取配当金	798	—
為替差益	166	1,053
その他営業外収益	424	1,312
営業外収益合計	1,533	2,512
営業外費用		
支払利息	1,086	670
支払融資手数料	2,117	2,500
支払手数料	45	46
その他営業外費用	65	709
営業外費用合計	3,314	3,926
経常利益	300,024	146,292
特別利益		
固定資産売却益	—	53
特別利益合計	—	53
特別損失		
固定資産除却損	134	25
貸倒引当金繰入額	150	—
特別損失合計	284	25
税金等調整前四半期純利益	299,740	146,320
法人税、住民税及び事業税	188,136	123,081
法人税等調整額	△59,135	△53,082
法人税等合計	129,000	69,998
少数株主損益調整前四半期純利益	170,739	76,322
四半期純利益	170,739	76,322

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	170,739	76,322
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,909	△3,477
為替換算調整勘定	△3,913	△12,739
その他の包括利益合計	996	△16,216
四半期包括利益	171,735	60,105
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	171,735	60,105
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ドキュメン テーション 事業	エンジニア リング事業	技術システ ム開発事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	928,108	609,422	714,978	2,252,509	—	2,252,509
セグメント間の内部売上高又は 振替高	32	344	106,468	106,844	(106,844)	—
計	928,140	609,766	821,446	2,359,353	(106,844)	2,252,509
セグメント利益	225,662	160,329	73,679	459,671	(157,866)	301,805

(注) 1. セグメント利益調整額△157,866千円には、セグメント間取引消去1,130千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△158,996千円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ドキュメン テーション 事業	エンジニア リング事業	技術システ ム開発事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	785,414	345,404	831,821	1,962,641	—	1,962,641
セグメント間の内部売上高又は 振替高	2,108	—	7,752	9,861	(9,861)	—
計	787,523	345,404	839,574	1,972,502	(9,861)	1,962,641
セグメント利益	144,404	61,819	82,310	288,533	(140,827)	147,706

(注) 1. セグメント利益調整額△140,827千円には、セグメント間取引消去2,376千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△143,203千円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。